

## 7. 濃密工事の必要性

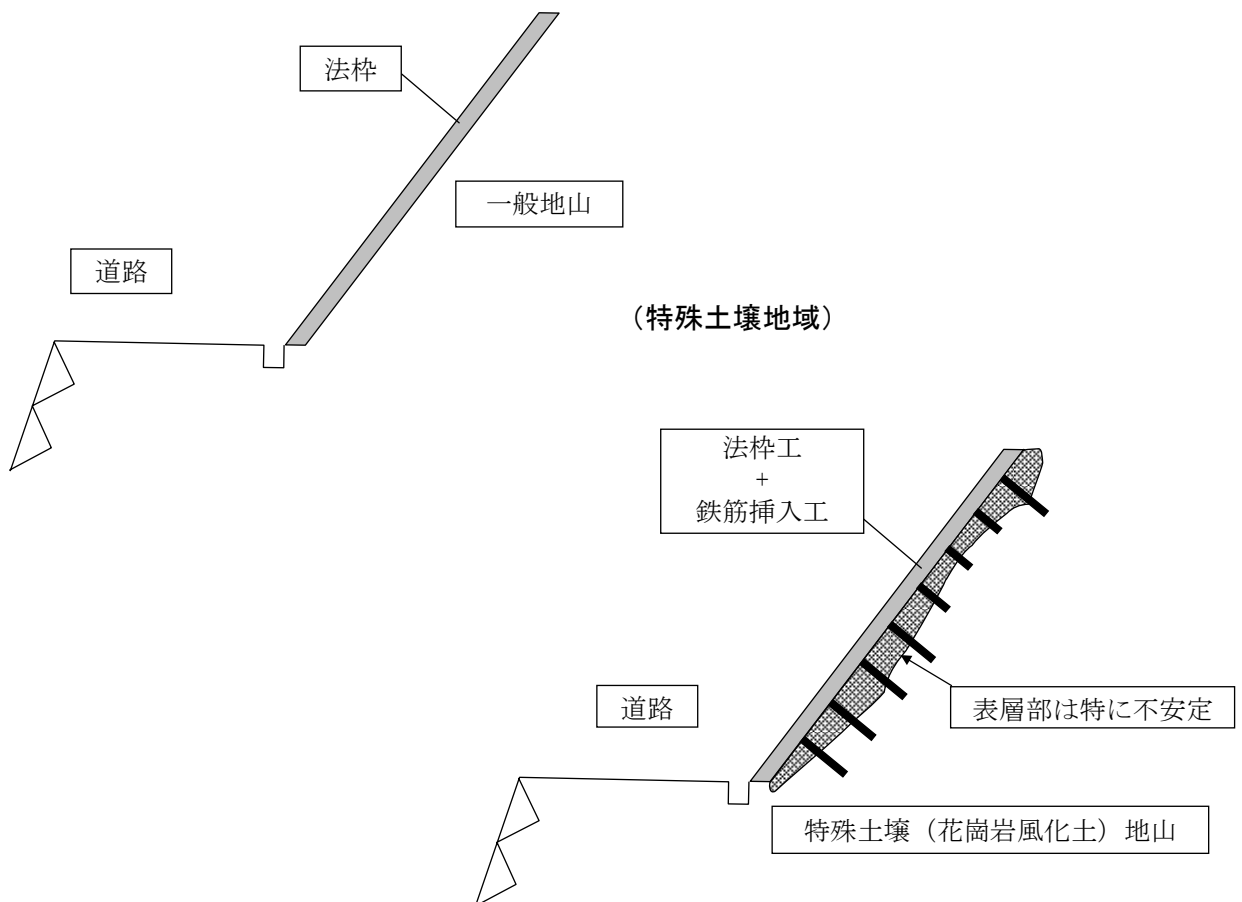
特殊土壌地帯は、シラス、花崗岩風化土等特に浸食を受けやすい土壌で覆われていることから、災害防除、農地改良対策とも周到な防災工事が求められ、濃密工事が必要となっている。そのため、事業費は一般地帯に比べて相当割高とならざるを得ない。

また、農地開発、ほ場整備など基盤の切盛を行う面的整備においては、通常の整地工法では土層が攪乱され下層のシラス等の不良土層が作土層に混入する結果、地力が低下し農作物の生産に著しく支障をきたすことから、表土扱や客土が必要となっている。

### (1) 崩落対策における事例

特殊土壌地帯（花崗岩風化土）は、風化しやすく、降雨等により侵食されやすいため、同程度の効果を得るための対策工法が一般地域に比べ大規模となり、一般的に事業費は高価となる。

#### (一般地域)

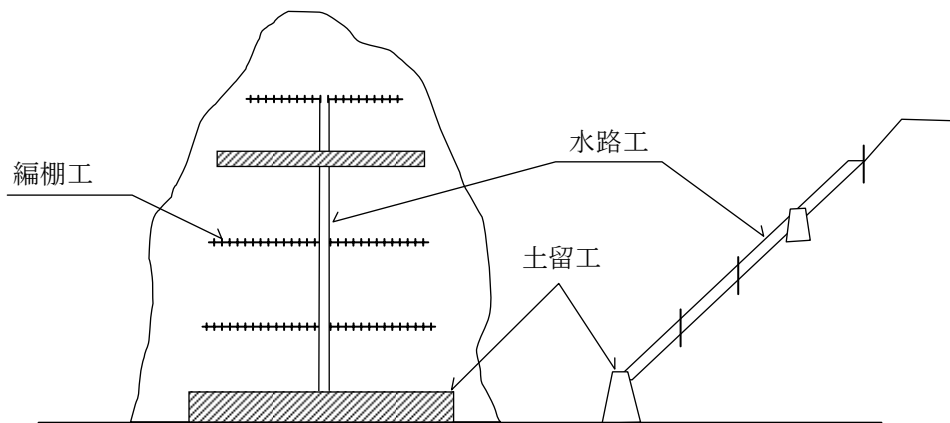


鳥取県提供資料

## (2) 治山・山腹工事における濃密工事

シラス地帯においては、降雨による表面水の拡散や浸食を防止するための土留工の増設、崩壊地への流水を防止するための水路工の増設など、濃密な施工が必要である。

### (一般地帯)



### (シラス地帯)

